

令和5年度 第1回家庭教育支援連絡会会議録

1 日時

令和5年7月24日（月）午後3時～4時

2 場所

市役所議会棟 5階 第2委員会室

3 出席委員

堀委員長、東田副委員長、田中委員、藤田委員、河流委員、島津委員、
原委員、権永委員、出口委員

4 欠席委員

石原委員、的場委員、岩本委員

5 事務局

大野課長、阪本係長、伴、川上

6 会議次第

(1) 開会

- ① あいさつ
- ② 自己紹介
- ③ 委員長、副委員長選出（堀委員長・東田副委員長に決定）

(2) 案件

- ① 家庭教育学級について
- ② 寝屋川市家庭教育サポートチームについて
- ③ ねやがわ子どもフォーラムについて
- ④ その他・情報交換

会議録

1 開会

青少年課阪本係長より連絡会の概要説明の後、各委員の自己紹介を行うと共に委員長、副委員長の選出を行った。

2 案件

(1) 家庭教育学級について

家庭教育講座

全 24 小学校で開催する。

講座の内容は、SNS など「家庭での情報モラル」が人気。すでに 6 校で開催した。残る 18 校に開催依頼を送付し、回答待ちの状況。

(2) 家庭教育支援者スキルアップ講習会

市内の家庭教育支援者、またこれから家庭教育支援者として活動する方を対象に、スキルアップを目的として実施。講習会受講者の中から、次年度の「家庭教育サポーター」の希望者を募り、活動していただく事を目的としている。時期は令和 5 年 12 月と考えているが、内容は検討中。

3 寝屋川市家庭教育サポートチームについて

家庭教育サポーターの活動実績について説明。

今年度も市内 24 小学校に各 1 名ずつ、家庭教育サポーターを配置。

地域や関係機関と連携しながら、保護者のよき相談相手になり、家庭の健全化を図り、子どもの生活改善につながるよう活動していく。

4 ねやがわ子どもフォーラムについて

- ・開催概要の説明（開催日：令和 6 年 2 月 10 日（土）を予定）
- ・家庭教育支援連絡会委員の所属団体にも周知を依頼していく。

5 その他・情報交換

【民生委員児童委員協議会】

民生児童委員の方では、「赤ちゃん泣いてもいいんだよ」プロジェクトが、コロナ禍の 3 年間止まっていた。

やっと動き出し、全民生委員さん、330 人ぐらいいるが、全員の方のうちわ作成のお手伝いをお願いし、ねやがわ祭りで配布する。

【幼稚園】

南幼稚園は近隣のあざみ保育所と統合になり、令和6年4月には認定子ども園になるので、園の工事も進みつつ状況整えていく動きになっている。

南幼稚園も働く保護者が多く保育時間が短いあたりで、入園希望の方が少なくなり、この3月で南幼稚園を閉めることになる。少ないながら、毎日にぎやかに楽しく過ごしている。

先週の金曜日から夏休みになり、夏休み中は登園日を5日設けて、プール遊びを中心に行う。

【保育所】

保育所では、コロナ禍が5類になってから、地域の取り組みや保育所内の行事等においても再開している。今年度はプールやイベントもできる。

【子育て支援課】

昨年度まであった、こどもセンターや八坂町にあった施設は廃止して、現在、中央幼稚園の空き教室をお借りして、そのまま支援センターとして事業を進めている。

コロナも5類に移行したことにより、自由にいつでも遊びに来てもらえる形でランチも復活し、10時から16時まで開室している。

たくさんの人たちが土日も含め遊びに来ている。

子育て支援課のリラットは、5周年なので、7月いっぱい無料でキッズスマイルパークが開いている。

たくさんのお母さんが来室し、お友達を作ったり、ラインで仲間になったりと情報交換の仕方は変わってたりはするが、今どきのSNSを使った、情報発信のような必要性を感じている。

【家庭教育サポーター】

・コロナ禍になり、様々な学校行事がなくなってしまう、お母さん同士の繋がりが持てない中、前年度に1度、サポーターとのおしゃべり会を開催するため、お手紙は2年生だけに配布したが、コロナで学級閉鎖になってしまい、1名だけの参加になった。

今年度も、コロナ禍が落ち着いたので、家庭教育サポーターとのおしゃべり

会を、低学年と高学年に分けて開催させてもらった。

数名の参加だが、本当にしんどいとか相談したい方は、皆ではなく、個人的に時間を変えた形で、数名のお母さんからの相談もあった。

コロナ禍でお母さん同士の繋がりが持ちにくくなっていると思うし、子育てが本当に大変な時代になっていると思う。

よき相談相手として、サポートできたらいいなと思っている。

・5月以降から、徐々にお子さんや保護者の方も、マスクを外して登校する姿が増えてきて、本当に表情がわかりやすくなり、関わりやすくなったと感じており、逆に、気持ちが下がりがちのお子さんはマスクをしたままなので、気持ちと表情はどうなのか気にはなっている。